

第1号議案

平成21年度

事業報告書

財団法人 大阪国際児童文学館

INTERNATIONAL INSTITUTE FOR CHILDREN'S LITERATURE, OSAKA

<はじめに>

当財団は、大阪府立国際児童文学館の開設以来、25年にわたり、その運営を受託し、児童文学・児童文化に関する図書その他の資料の収集保存、活用及び調査研究並びに国際交流に係る各種事業を実施することにより、児童文学・児童文化の振興に努めてきた。

しかし、大阪府の決定により、大阪府立国際児童文学館は平成21年度末で廃止、大阪府立中央図書館に移転されることになり、その準備等のため、平成21年12月27日をもって休館とされた。

そのため、児童文学館の管理運営にかかる諸業務については、事実上、平成21年中に終了し、22年3月までは、資料の収集・整理を続けるとともに、所蔵資料の移転準備等の業務に携わった。

事業については、館の廃止決定のなかにあっても、管理運営に万全を期し、資料の収集・整理・保存、講座・講演会等の開催、調査・研究事業などを継続的に実施しただけでなく、入館者の増加を図る取り組みとして、書庫などを専門職員が案内する館内見学ツアーや、「児童文学館へ行こう！」キャンペーンを行い、オリジナルグッズの制作・販売などを行った。

また、絵本を通して中国と日本の文化の相互理解を深めるため「中国と日本の絵本」をテーマにしたシンポジウムを開催し、国内外の研究者のネットワーク構築を進めるとともに、国際的な児童文学研究の振興に寄与する「国際グリム賞」の授賞式・記念講演会を行うなど児童文学・児童文化の振興に努めた。

一方、当財団として、存続問題や今後について対応・協議するため、「経営特別委員会」を設置して、1年間延べ13回会合をもち、検討を続けてきた。その結果、当財団は存続し、これからも子どもの本・子ども文化の振興をめざして活動を続けることとなった。

そのため、財団寄附行為の変更を行い、役員・職員体制を一新することとし、職員については平成21年度末で全員を解雇し、所要の退職金を支給した。あわせて、独自財源から財団基本金の積み増し、事務所移転などを行った。

以上の事由により、平成21年度の「事業報告」および「収支決算」は、例年とは全く異なる状況になっている。

○役員会等の開催状況

1. 理事会

回	開催年月日	議事内容
第1回	21.5.1	(1) 評議員の選出について
第2回	21.6.4	(1) 常務理事の選任について (2) 評議員の選出について
第3回	21.6.25	(1) 平成20年度事業報告について (2) 平成20年度収支決算について (3) 評議員の選出について
第4回	21.7.17	(1) 評議員の選出について
第5回	22.2.15	(1) 寄附行為の変更について
第6回	22.3.26	(1) 寄附行為の変更について (2) 基本財産の繰り入れについて (3) 平成21年度収支予算の補正について (4) 平成22年度事業計画について (5) 平成22年度収支予算について (6) 評議員の選出について (7) 理事長の報酬について

2. 評議員会

回	開催年月日	議事内容
第1回	21.5.21	(1) 役員を選任について
第2回	21.6.11	(1) 平成20年度事業報告(案)について (2) 平成20年度収支決算(案)について (3) 役員を選出について
第3回	22.2.5	(1) 寄附行為の変更について
第4回	22.3.16	(1) 寄附行為の変更について (2) 基本財産の繰り入れ(案)について (3) 平成21年度収支予算の補正(案)について (4) 平成22年度事業計画(案)について (5) 平成22年度収支予算(案)について (6) 役員を選任について

3. 運営協議会

法人運営の基本的事項について協議を行った。

第1回 平成21年 6月 5日

第2回 平成22年 3月 9日

4. 経営特別委員会

理事長をトップとする「経営特別委員会」を設置し、存続問題や今後について検討、対応を行った。

第1回 平成21年 4月23日

第2回 平成21年 5月18日

第3回 平成21年 6月 5日

第4回 平成21年 6月25日

第5回 平成21年 8月 6日

第6回 平成21年 9月 7日

第7回 平成21年10月27日

第8回 平成21年12月27日

第9回 平成22年 1月26日

第10回 平成22年 2月15日

第11回 平成22年 3月 9日

第12回 平成22年 3月15日

第13回 平成22年 3月23日

○事業実施の概要

I 施設の維持管理及び利用促進事業

講堂、セミナー室、特別閲覧室等施設の良い維持管理を行うとともに児童文学等の催し等のために講堂、セミナー室、特別閲覧室を一般の利用に供した。

講 堂	セミナー室	特別閲覧室	計	府費徴収納付額合計
1 1 件	4 5 件	3 6 件	9 2 件	291,140 円

II 児童文学等に関する図書、記録その他の資料を収集し、利用に供する業務

1. 資料の収集

資料収集は、①から③に関し、現在出版されている児童書及び研究書を収集するとともに、関連資料についても幅広く収集するように努めた。また、古書について、ホームページ等で提供を働きかけるなど寄贈依頼を積極的に行うことにより、過去発行されて所蔵リストにない学術的に貴重な資料についても収集に努めた。なお、収集について、マンガ本については、子どもの読者を対象としたものに限定するなど収集の精査を行い、外国語資料については、開架用の理論書、絵本等に重点を置いて収集を行った。

資料収集は①～③を従来どおり収集した。児童文学・児童文化の総合資料センターとしての機能が発揮できる資料収集に努めた。外国語資料については事業との関連により、中国の絵本を重点的に収集した。

- ① 日本及び外国の児童図書
- ② 児童文学・児童文化に関する研究書
- ③ 整理業務及び閲覧に必要な参考資料
(上記についての雑誌、新聞等の逐次刊行物含む。)

(購入資料)

(単位：点)

区 分	前年度までの累計	21 年度購入実績	合 計	
図 書	和 書	157,550	5,156	162,706
	洋 書	21,297	58	21,355
	合 計	178,847	5,214	184,061
雑 誌	62,355	1,752	64,107	
そ の 他	2,165	120	2,285	
合 計	243,367	7,086	250,453	

(寄贈資料)

(単位：点)

区 分	前年度までの累計	21 年度寄贈実績	合 計
図 書	204,298	14,043	218,341
雑 誌	212,128	5,906	218,034
そ の 他	124,363	2,793	127,156
合 計	540,789	22,742	563,531

2. 資料の整理

購入・寄贈資料について、整理方針に基づき整理を行った。また、書架効率の高い配架と請求記号により閲覧利用の便宜を図るほか、迅速かつ効率的な資料整備を実施し、来館者やインターネット利用者への的確な資料情報提供に努めた。

(資料の整理状況)

(単位：点)

区 分	前年度までの累計	21 年度整理実績	合 計
図 書	383,145	19,257	402,402
雑 誌	274,483	7,658	282,141
そ の 他	126,528	2,913	129,441
合 計	784,156	29,828	813,984

※貸出用資料の破損、複本の活用等による平成 21 年度までの払出数

75,562 点 (差引現在数 738,422 点)

3. 資料の保存

明治期以降の児童図書、少年少女雑誌、同人雑誌、絵本原画、紙芝居等をはじめとする多種多様な所蔵資料の保存環境を整え、利用の便宜を図った。

4. 資料の活用

インターネットを活用し、ホームページにより当館の案内情報を提供するとともに、蔵書の検索、関連機関へのリンク機能などを活用し、広く資料活用の促進を図った。

5. こども室、閲覧室におけるサービスの充実

利用者サービスの拡充に努めた。こども室では多様な読書サービスを提供するとともに、登録者の図書・雑誌の館外貸し出しを行った。

6. 「レファレンス」サービス

来館利用者及び電話や電子メールなどによる児童文学等に関する文献資料及び情報の紹介・提供依頼に応じるほか、公立図書館・学校などの機関からの照会・相談に応じた。

こども室、閲覧室の利用

月	入館者数	こども室				閲覧室		
		新規登録者数	貸出人数	貸出冊数	レファレンス	入室者数	閲覧冊数	レファレンス
4	8,391	76	420	2,399	45	768	6,495	146
5	7,227	56	404	2,236	30	619	4,450	94
6	4,347	68	440	2,466	42	735	5,486	91
7	4,713	50	386	2,144	30	566	4,004	101
8	4,642	88	492	3,036	27	896	6,213	104
9	4,952	60	441	2,338	28	601	5,616	109
10	5,221	65	420	2,216	54	438	3,576	101
11	7,430	73	410	2,286	38	690	7,578	106
12	5,679	39	390	2,123	33	798	12,871	125
1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0
計	52,602	574	3,803	21,244	327	6,111	56,289	977

7. 資料の特別貸出

公共の機関や団体が展示等必要とする場合に、資料の特別貸し出しを行った。

「フランダースの犬」など主題別展示一括資料による特別貸出を公立図書館等に行った。

貸出件数 42件

貸出資料点数 1,457点

8. アジアの絵本セットの貸し出し

アジアの子どもの本の現状を子どもにもわかるようにテーマ別等に分類し、解説書等を添付したアジアの絵本貸出セットを広く、学校、図書館、読書活動や国際交流活動を行うNPO団体等に貸し出した。

貸出件数 12件（韓国Aセット 3件 韓国Bセット 1件
中国語圏セット 6件 タイセット 2件）

9. 資料複写利用者サービス事業

来館利用者及び当館ホームページ上からの複写申込などにより、利用者の要望に応じ、カラー複写を含む資料の複写サービスを行った。

マイクロフィルム電子印画 及び電子式複写印画 88,538枚

Ⅲ 児童文学等に関する講座・講演会等の開催業務

1. 講座・講演会の開催

(1) 児童文学講演会

- ①日 程 平成 21 年 6 月 14 日 (日)
場 所 当館講堂
題 名 「長新太さんと絵本」
講 師 松居 直 氏 (当財団理事長)
参加者数 1 5 8 名
主 催 大阪国際児童文学館を育てる会
共 催 当財団
- ②日 程 平成 21 年 8 月 8 日 (土)
場 所 当館講堂
題 名 「ふたりの読み手 子どもの『私』と、いまの『私』」
講 師 池内 紀 氏 (ドイツ文学者、エッセイスト)
参加者数 9 5 名
主 催 当財団・日本児童文学学会関西例会
- ③日 程 平成 21 年 9 月 26 日 (土) (子どもゆめ基金助成事業)
場 所 当館セミナー室
題 名 「絵本編集者に絵本作りを聞く Part 3 一冊の絵本ができるまで」
講 師 小宮山 民人 氏 (理論社取締役編集部長)
参加者数 2 9 名
- ④日 程 平成 21 年 11 月 15 日 (日)
場 所 当館講堂
題 名 国際グリム賞記念講演
「楽園の回復をめざして一日本児童文学を中心に」
講 師 神宮 輝夫 氏 (青山学院大学名誉教授)
参加者数 1 6 6 名
主 催 当財団・財団法人金蘭会・大阪府立大手前高等学校同窓会金蘭会
- ⑤日 程 平成 21 年 12 月 23 日 (水)
場 所 当館講堂
題 名 「児童文学とともに」
出 演 三木 卓 氏 (詩人、作家)
参加者数 1 6 3 名
助 成 独立行政法人 日本万国博覧会記念機構助成事業

(2) 国際講演会

日 程	平成 21 年 11 月 29 日 (日)
場 所	当館講堂
題 名	シンポジウム「アジアの絵本の世界へようこそ中国と日本の絵本」
講 師	熊 亮 氏 (中国の絵本作家) 梶山 俊夫 氏 (絵本作家：ビデオによる出演)
参加者数	70名

(3) 「本の講座」の開催

「平成 20 年に出版された子どもの本」を紹介、解説する。

日 程	平成 21 年 4 月 27 日 (月)、4 月 28 日 (火)、4 月 29 日 (水・祝)
場 所	当館講堂
題 名	紹介と解説「平成 20 年に出版された子どもの本」
講 師	西村 寿雄 氏 (科学読物研究会) 他当館職員
対 象	教員、司書、読書推進関係団体、府民等
参加者	272名 (3日間)

2. 事業へのボランティアの参加と協働による事業の充実

(1) ボランティア研修講座の開催

当館おはなし会等への参加実践、こども室行事等についての意見聴取などボランティアとの協働とボランティアを通じた地域の読書支援のために、ボランティア研修講座を開催した。

a ボランティア支援連続講座「こどもと絵本をよむ」		
講 師 当館職員ほか		
平成 21 年 5 月 28 日～7 月 5 日 (全 5 回)	当 館	参加 26 名
b おはなし会研修		
講 師 当館職員ほか		
平成 21 年 5 月 26 日～12 月 1 日 (全 6 回)	当 館	参加 29 名
c 人形劇研修		
講 師 松本 則子 氏 (人形劇団クラルテ)		
平成 21 年 10 月 5 日 (月)、11 月 16 日 (月) (全 2 回)	当 館	参加 5 名

(2) ボランティア自主研修への支援

ボランティア登録者がグループを作って自主研修を全 4 回当館において実施した。職員がアドバイザーとしてそれぞれのボランティアの地域活動に関わる資料支援や助言を行った。

(3) ボランティアの事業への参画

当館のボランティア研修講座及び人形劇講座修了者を中心に希望者を募り主催事業等への参画を促進した。

- ① 子ども読書の日記念「おはなしのバスケット」等への参加
- ② 「おはなしモノレール」への参加
- ③ こども室行事（おはなし会・おたのしみ会等）への参加
- ④ 団体利用プログラム（人形劇・おはなし会プログラム）への参加
- ⑤ 「平成20年に出版された子どもの本」の紹介、解説への参加
- ⑥ 当館事業のチラシの配付を支援・協力

3. 団体利用プログラム等

保育所・幼稚園、小・中学校、高校、養護教育諸学校の団体の来館者を対象に、園児・児童・生徒が楽しく読書をするきっかけづくりや物語の世界にふれ、本への興味や関心を持つためのプログラムの充実を図り、実施することにより施設の利用促進に努めた。府内の保育所・幼稚園、小学校・中学校、高校、養護教育諸学校等に網羅的にチラシを配布し、利用の拡大を図った。

内容：主題別、対象別にプログラムを作成し、実施。

○プログラム利用（平成21年4月～21年12月）

保育園（所）・幼稚園	：	5 団体	269 人
小学生 低学年	：	10 団体	690 人
小学生 高学年	：	2 団体	133 人
中学生	：	0 団体	0 人
その他の団体	：	1 団体	69 人
		計 18 団体	1,161 人

○こども室自由読書（平成21年4月～21年12月）

8 団体 251 人

4. 見学

希望者に書庫をはじめ館内を案内し、説明するガイドツアーを実施した。従来から実施してきた事前予約のガイドツアーにくわえて、6月から当日参加フリーの見学ツアー〈一般向け（中学生以上対象）と小学生向け〉も開始した。

平成21年4～12月：土曜日・日曜日・祝日に実施

・事前予約ガイドツアー	58 回	943 人
・当日参加フリー見学ツアー	一般向け	： 87 回 733 人
	小学生向け	： 72 回 374 人
	計	159 回 1,107 人

5. 「夢の池劇場」の開催（「子どもゆめ基金」助成事業）

世界のおはなし、アニメーション、人形劇など、親と子どもが楽しめる行事を行った。

「夢の池劇場2009」		
a 「ヒーローアニメーション上映会」＋書庫見学ツアー		
協力 スタジオびえろ、プラネット映画資料図書館		
平成21年5月3日（日・祝）	当館	参加 子ども18名 大人23名 書庫見学 11名
b 環境エキスポ「エコカスタをならそう」（クラフト・紙芝居）＋書庫見学ツアー		
出演 ボランティア、当館職員		
平成21年5月4日（月・祝） 5月5日（火・祝）	当館	参加 子ども693名 大人577名 書庫見学 3名
c 『地獄の悪魔アスモデウス』の世界を楽しもう ワークショップ「おはなしであそぼう」（「子どもゆめ基金」助成事業）		
講師 土居 安子（当財団主任専門員）		
平成21年5月5日（火・祝）	当館	参加子ども19名 大人見学23名
d 「舞台劇 アスモデウス」（「子どもゆめ基金」助成事業）		
上演 劇団京芸		
平成21年5月5日（火・祝）	当館	参加 子ども54名 大人50名 書庫見学 9名
e 「バオバブの木の下で－西アフリカおはなし」＋書庫見学ツアー		
語り 地球おはなし村 演奏 ジョセフ・ンコシ氏（バラフォン演奏家）、河辺 知美氏（太鼓演奏家）		
平成21年5月6日（水・祝）	当館	参加 子ども50名 大人88名 書庫見学 13名

6. こども室行事

子どもが本に親しみ、関心を持つための様々な試みを行い、得られた成果を子ども読書に関わる機関や団体に提示していく。具体的には、子どもと保護者がくつろぎながら、好きなときに好きなだけ本と過ごせるような場を提供するとともに、本との出会いの場としてのおはなしコーナーでの「おはなし会」の開催、物語体験、科学あそび等を行い、ボランティアとともに、読書を楽しむ環境づくりを推進した。

a 3・4・5歳のおはなし会「花のおはなし」ほか		
出演 当館職員、当館ボランティア		
平成21年4月4日～12月12日（8回）	当館	参加 子ども61名 大人75名

b おはなし会「オランダのおはなし」ほか		
出 演 当館職員、当館ボランティア		
平成21年4月5日～12月27日(15回)	当 館	参加 子ども 256名 大人 266名
c おはなしのバスケットーお茶とおかしのおはなしー		
出 演 当館職員、当館ボランティア		
平成21年4月19日(日)	当 館	参加 子ども 29名 大人 25名
d 日本オランダ年08-09 EXPO Park チューリップフェスタ in OSAKA		
平成21年4月20日(月)	当 館	参加 120名
e ワークショップ『はらぺこあおむし』『だくちるだくちる』		
講 師 土居 安子(当財団主任専門員)		
平成21年6月28日(日)9月27日(日)	当 館	参加 子ども 14名 大人 9名
f 「緑いっぱい・物語いっぱい・こどもの笑顔いっぱいの日」 人形劇・街頭紙芝居・紙芝居とパネルシアター・クラフト・ アフリカの太鼓とおはなし・野菜の朝市・きみもヒーロー・ヒロインだ! (独立行政法人日本万国博覧会記念機構助成)		
出 演 ボランティア、当館職員ほか		
平成21年7月20日(月・祝)	当 館	参加 子ども 909名 大人 736名
g 物語体験クラブ「テーマ：魔法」		
講 師 土居 安子(当財団主任専門員)		
平成21年7月21日23日24日(3回)	当 館	参加 子ども 12名
h 科学あそび「つくろう!たのしもう!アニメーション」		
講 師 小谷 佳津志氏(近畿アニメーション協議会)		
平成21年7月26日(日)	当 館	参加 79名
i 大型ビデオ上映会「ふしぎなおはなし」		
協 力 ヤマハミュージックメディア、アット・アームズ		
平成21年8月16日(日)	当 館	参加 子ども 25名 大人 27名
j おもしろいでえ!大阪の昔話		
出 演 ボランティア		
平成21年8月23日(日)	当 館	参加 子ども 24名 大人 49名
k みんなで楽しむ上方落語 (独立行政法人日本万国博覧会記念機構助成)		
出 演 桂 佐ん吉氏、桂 吉坊氏		
平成21年9月5日(土)	当 館	参加 子ども 40名 大人 62名
l よみがえる街頭紙芝居ー上演と展示ー		
出 演 三邑会(近藤氏、古橋氏)		
平成21年9月22日(火・祝)	当 館	参加 子ども 40名 大人 62名

m 「ことばあそび大会」(万博コスモスフェスタ協賛)		
プログラム進行 ボランティア、当館職員		
平成21年10月18日(日)	当館	参加 子ども80名 大人80名
n ワークショップ「スズキコージのダンボールで(ゆめのくるま)をつくろう！」		
講師 スズキコージ氏(絵本作家)		(子どもゆめ基金助成事業)
平成21年11月3日(火・祝)	当館	参加 51名
o 関西文化の日記念イベント「おはなしクイズにちょうせん」		
講師 当館職員		
平成21年11月14日(土)	当館	参加 84名
p おはなしモノレール (協賛：大阪高速鉄道株式会社、日本万国博覧会記念機構、阪急電鉄株式会社)		
出演 当館ボランティア、人形劇サークル「ぱれっと」、当館職員		
平成21年11月21日(土)2回	当館	参加 子ども92名 大人98名
q はしれ！ミニSL！ ミニSLの走行とNゲージ模型の走行		
協力 大阪府立今宮工科高等学校機械系		
平成21年11月29日(日)	当館	参加 子ども147名 大人69名

7. 所蔵資料の展示

常設展示コーナーに当館所蔵の絵本・児童書・原画等を計画的に展示した。また、当館職員が展示内容についての解説を加えたリストを作成し、来館者に配布した。

- ①「インドの絵本の現在」展 (平成21年4月2日～4月29日)
- ②「みんなが愛する ヒーロー・ヒロイン」展 (平成21年5月2日～7月30日)
- ③「大阪発！子どもの文化③—メディアと児童文化」展
(平成21年8月1日～11月1日)
- ④「こどもの夢を描く のりもの絵本100年」展
(平成21年11月3日～12月27日)

※ 展示にあわせて、下記の催しを実施した。

- ・「ギャラリートーク」 浅岡靖央氏(展示③企画・監修者、児童文学研究者)
平成21年9月22日 参加者18人

また、公立図書館等に貸出するため、当館で行った展示に使用した所蔵資料、解説資料などをパックした展示パック「フランダースの犬」「ピーター・パンの世界」「マザーグース」の利用を呼びかけた。

8. 創作童話・絵本の募集コンクール(協賛：日産自動車株式会社)

創作童話・絵本の募集コンクール「第26回ニッサン童話と絵本のグランプリ」を実施した。

募集期間 平成 21 年 7 月～10 月
表彰式 平成 22 年 3 月 7 日（日）（日産自動車グローバル本社）
応募数 2,660 編（童話 2,224 編・絵本 442 編）
後援 文部科学省
大阪府教育委員会
社団法人日本国際児童図書評議会
日本児童文学学会
社団法人日本児童文学者協会

9. インターンシップ受入れ事業

大学生が財団の業務体験をすることで、児童文学・児童文化に理解を深めることを目的に、インターンシップ生を受け入れ、プロモーションビデオの企画、イベントチラシの作成・配付等を行った。

期 間 7 月 1 日～8 月 31 日
参加者 3 大学 4 名

IV 児童文学等に関する調査及び研究業務

1. 共同研究の実施

当館の職員と子どもの本に関わる分野の専門家が学際的に協働し、研究を行った。研究成果については、当館のホームページに登載して広く活用を図った。

○「子どもが利用できる汎用性のある図書検索システム」の研究・開発

当館におけるインターネットによる子ども向けの図書検索システム（「本の海大冒険」「ほんナビきっず」）の活用状況も調査しながら、子どもにとってより使いやすい、効果的なシステムの研究開発を引き続き行った。さらに、ほんナビきっずのコンテンツを追加投入し、システムの充実を図った。

○「おはなしボランティア支援 読書活動実践データベース」の管理・公開

（子どもゆめ基金教材開発普及助成事業）

平成 19 年度に開発したおはなし会データベースを管理・公開し、おはなしボランティアへプログラム事例を公開するなどサービス提供に努めた。

○「中国の子どもの本・絵本」の研究

近年著しい発展をみている中国の絵本について、中国から絵本作家を招聘してのシンポジウムの開催、その記録集および中国の絵本の現状に言及した論文集を刊行した。また、その成果は図書館等に配布するとともに、子ども向けに使いやすい絵本セットを作成した。

2. 明治大正期児童雑誌研究プロジェクト

館職員と外部研究者で構成された明治大正期児童雑誌研究プロジェクトチームが「少年世界」を中心に共同研究を行い、その成果を第 48 回日本児童文学学会研究大会でラウンドテーブルとして発表した。

V 諸外国との児童文学等に関する資料及び情報交換業務

1. 国際交流事業「中国と日本の絵本」

平成 15 年度まで実施してきた「外国人客員研究員招聘事業」の成果を継承しつつ、幅広い人たちに興味や関心を持ってもらうことのできる「絵本」をテーマに、アジア地域における児童文学先進国を重点的にとりあげる新しい事業を平成 17 年度から開始した。韓国、中国語圏（その 1、台湾）、タイ、インドに引き続き、「中国の絵本」をテーマとした事業を、外部研究者らを交えたプロジェクトチーム（三宅興子氏、成實朋子氏、及び当館職員）を構築、座談会を行うなど絵本を通して中国と日本の文化の相互理解を深めた。国内外の研究者のネットワーク構築に寄与し、児童文学及び児童文学研究の促進を図った。

賛助企業： 関西電力(株)、近畿日本鉄道(株)、サントリーホールディングス(株)、
武田薬品工業(株)、阪急電鉄(株)、(株)富士通東北システムズ、
パナソニック(株)、ムサシ・アイ・テクノ(株)

(1) プレ研究会の開催

日 程	平成 21 年 10 月 17 日（土）
場 所	当館セミナー室
題 名	シンポジウム「アジアの絵本の世界へようこそ 中国と日本の絵本」プレ研究会
講 師	三宅 興子 氏（梅花女子大学名誉教授） 成實 朋子 氏（大阪教育大学准教授） 浅野 法子（当財団非常勤専門員）
参加者数	12名

(2) シンポジウムの開催

日 程	平成 21 年 11 月 29 日（日）
場 所	当館講堂
題 名	シンポジウム「中国と日本の絵本」
講 師	熊 亮 氏（画家・中国絵本作家） 梶山 俊夫 氏（画家・日本絵本作家） ビデオ出演
参加者数	70名

(3) 論文集 「中国と日本の絵本」シンポジウム報告、中国の絵本についての研究論文集の発行

中国絵本の歴史・文化面からの考察、個別の作品、作家、絵などのテーマで、日本、中国の研究者による複数の論文を一冊の論文集にまとめた。論文集は府城図書館・国内外研究機関等へ配布を行った。

(4) 貸出用絵本セット(中国の絵本)の作成

平成 18 年度作成の「中国絵本貸出セット」をリニューアルし、新刊を加え、中国大陸の絵本を増やした「中国の絵本セット」を作成し、希望する学校、公共図書館、ボランティア団体等への貸し出しを行えるようにした。

(5) おはなし会等の開催

子どもを対象に、中国の絵本を題材にした「おはなし会」などの催しを開催した。

2. 資料、情報交換

当館の活動及び日本の児童文学の状況について紹介した「IICLO REPORT」(英文レポート)を電子メール等で、海外の児童文学専門機関等に提供するとともに、ホームページで情報を提供した。また、海外の関係機関と資料、情報の交換を行った。

対象機関

国際青少年図書館 (ドイツ)
浙江師範大学 (中国)
世界華文児童文学資料館 (台湾)
スウェーデン児童文学研究所 (スウェーデン)
ジェノバ市立国際児童図書館 (イタリア)
児童文学研究所 (フィンランド)
ライデン大学 (オランダ)
国際シャルル・ペロー研究所 (フランス)
アメリカ議会図書館 (アメリカ)
セブンストーリーズ (イギリス) 等

3. 国際児童文学研究賞事業

世界の児童文学研究に貢献する人々の業績を顕彰し、国際的な児童文学研究の振興に寄与するため、第 12 回「国際グリム賞」の授賞式と受賞者の講演会を行った。

名 称	「国際グリム賞」
授賞式	平成 21 年 11 月 15 日 (日) 14 時～16 時 30 分 当館講堂
講演会	「楽園の回復をめざしてー日本児童文学を中心にー」
受賞者	神宮 輝夫 氏 (日本)
参加者数	166 名
主 催	財団法人 大阪国際児童文学館 財団法人 金蘭会 大阪府立大手前高等学校同窓会 金蘭会

VI これらのほかに目的を達成するために必要な業務

1. 情報発信・広報事業

(1) ホームページの内容の充実

よりわかりやすく、充実したホームページとなるよう、資料検索、利用案内、事業案内、事業報告、複写依頼、貸出予約等、内容の充実に努めた。

アクセス数： 112,215 件

その他、次のことを行った。

- ①資料の検索サービスの充実、管理・運営
- ②「本の海大冒険」等、デジタルコンテンツの管理・運営
- ③当館の事業、研究成果などの紹介
- ④国内の児童文学・児童文化関連事業の収集・発信

(2) 対外的なシステム（組織）との連携

①「大阪府内図書館横断システム」の活用

府内の主要な公立図書館が参加するシステムのデータベースを活用し利用者への情報提供に努めた。

②児童書電子総合目録の活用

国際子ども図書館が主宰し、当館のほか国内の主要な児童書保有機関が参画する「児童書電子総合目録」を活用し利用者への情報提供に努めた。

(3) 報道機関等への積極的な情報提供

報道機関等へ催し等について積極的に情報提供を行うほか、広報媒体への資料提供を積極的に行い、従来からの広報媒体や新聞各紙、各団体 HP による紹介に加え、雑誌等への情報提供にも務めた。

主な送付先

ア 「万博公園だより」	(独) 日本万国博覧会記念機構
イ 「大阪モノレール沿線案内(車内ポスター)」大阪高速鉄道 (株) 及び「モノレールプレス」	
ウ 「リビング新聞」	サンケイリビング新聞社
エ 「読書カレンダー」	(社) 読書推進運動協議会
オ 「すいた市政概要」	吹田市
カ 大阪府WEB情報局、府教委ニュース	大阪府
キ 在阪テレビ局、在阪新聞社	
ク この本読んで	(財) 出版文化産業振興財団
ケ t o c o t o c o	(株) 第一プロGRESS

(4) 「児童文学館へ行こう！」キャンペーンの実施

新たなキャンペーンを実施し、様々な取り組みにより入館者の増加に努めた。

①スタンプ・ラリー

当館のこども室イベント・展示クイズ等に参加した子どもにシールを台紙に貼って「しおり」とし、プレゼントした。

実施日：平成21年7月18日～8月31日

実績：197名

②オリジナルグッズの制作・販売

当館ゆかりの画家デザインのオリジナルグッズ（缶バッジ・缶マグネット）を制作し、14,010個（15種類）を販売し、完売した。

(5) 大阪モノレール公園東口駅構内「子どもの本コーナー」設置への協力

大阪モノレール公園東口駅構内に子どもの本コーナー「よモノん」設置に協力。絵本など316冊を配置し、駅利用者に読書スペースで自由に利用していただく。あわせて、館への道順、行事案内など広報スペースとして活用した。

2. 特別研究員制度の活用

外部の研究者と新たなネットワークを築くとともに、当館の資料の活用を図るため、館外の研究者を特別研究員として招聘し、当館資料を用いた研究が促進するよう努めた。その成果は当館の「紀要」等への投稿、展示等の企画・運営、講演会の開催等により還元された。

・村川 京子

期 間：前期

テーマ：近代日本の絵雑誌の基礎的研究

3. 文学館レポートの発行

「大阪府立国際児童文学館 REPORT」（和文・英文）の発行

4. 出版・編集事業の実施

児童文学・文化振興のため、次のとおり出版・編集事業を実施した。

・第25回ニッサン童話と絵本のグランプリ童話大賞受賞作品

「鉄の麒麟の海わたり」

・第25回ニッサン童話と絵本のグランプリ絵本大賞受賞作品

「たいふうがくる」

B L出版（株）と提携 平成21年12月刊行

・「国際児童文学紀要」 第22号、第23号

Ⅶ 大阪府子ども読書活動推進事業

文部科学省の委託事業を大阪府子ども読書活動推進連絡協議会が企画運営を担当し、関係機関・団体と連携協力しながら実施した。なお、事務局は当財団が担当した。

文部科学省委託事業「子ども読書応援プロジェクト」

A. 「ブックスタート」の推進事業

1. 実行委員会開催

開催日：平成21年5月25日（月）、7月7日（火）
参加者：大阪府子ども読書活動推進連絡協議会メンバー
場 所：大阪市立中央図書館会議室

2. 連続講座開催：「赤ちゃんに絵本をとどける」

第1回 日 程：平成21年9月8日（火）
場 所：大阪府立国際児童文学館講堂
講 演：「ブックスタートを考える
—福岡県小郡市における成果と課題—」
講 師：篠原 忍 氏（福岡女学院看護大学教授）
参加者：82人（図書館職員・保健師・ボランティアの方など）

第2回 日 程：平成21年9月19日（土）
場 所：大阪府立中央図書館大会議室
講 演：「赤ちゃん絵本の魅力—うたう・つなぐ—」
講 師：佐々木 宏子 氏（鳴門教育大学名誉教授）
参加者：90人（図書館職員・保健師・ボランティアの方など）

第3回 日 程：平成21年10月2日（金）
場 所：大阪府立国際児童文学館講堂
講 演：「赤ちゃんに絵本をとどける —よりよい活動をめざして—」
講 師：新井 せい子 氏（箕面市子ども文庫連絡会）
土居 安子（当財団主任専門員）
参加者：39人（図書館職員・保健師・ボランティアの方など）

3. 「ブックスタート」の調査事業

調査協力市：池田市・河内長野市・四條畷市・吹田市・泉南市・高槻市・
豊中市・富田林市・松原市（五十音順）
調査時期：平成21年8月～10月
調査スタッフ：大阪府子ども読書活動推進連絡協議会メンバー

B. 子ども読書地域スクラム事業

1. 実行委員会・打合せ開催

開催日：平成 21 年 7 月 23 日（木）、11 月 5 日（木）
参加者：大阪府子ども読書活動推進連絡協議会メンバー
場 所：（第 1 回）大阪市立中央図書館会議室
（第 2 回）大阪府立国際児童文学館セミナー室

2. 「青少年おはなしボランティア入門講座」研修会

開催日：平成 21 年 8 月 6 日（木）
場 所：大阪府立国際児童文学館講堂
講 師：矢野 明子 氏（元大阪市立東淀川図書館長）
参加者：24 人（「青少年おはなしボランティア入門講座を実施する中学校・高等学校の担当者、地域の公立図書館の担当者、地域のボランティア）

3. 「青少年おはなしボランティア入門講座」

開催校・参加者：和泉市立郷荘中学校 14 人
大阪市立松虫中学校 18 人
大阪市立夕陽丘中学校 10 人
羽曳野市立高鷲南中学校 10 人
大阪府立堺上高等学校 11 人

時 期：平成 21 年 8 月～12 月

講師・アドバイザー：地域の図書館職員・ボランティア

回 数：5 回連続講座

内 容：受講を希望した中学生・高校生が、絵本の選び方・読み方やおはなし会のプログラムのたて方などを学び、最後に地域の幼稚園・小学校・ベビーハウス・子育てサポートルームなどでおはなし会を実施する。

4. 読書活動に結びつく実体験活動（自然体験等）事業

開催日：平成 21 年 11 月 22 日（日）

場 所：大阪府立少年自然の家

講 師：姉崎 一馬 氏（写真家・絵本作家）

内 容：姉崎氏の指導を受けて、家族で秋の森を探索しオリジナル絵本をつくる。

スタッフ：大阪府子ども読書活動推進連絡協議会メンバー

参加者：9 家族 26 人

5. 啓発リーフレット「親と子が楽しむはじめての絵本」印刷・配布

部 数：48,000部

配布先：保健センター・図書館等

C. 活動報告・講演会開催

場 所：ホテルアウイーナ大阪

日 程：平成21年12月17日（木）

第1部：大阪府域での子どもの読書活動の報告

報告者：土居 安子（当財団主任専門員）

第2部：講演会：「広がる子どもの本の可能性—世紀末からゼロ年代へ」

講 師：野上 暁 氏（児童文学評論家）

D. 平成21年度報告書作成

部 数：600部

配布先：府内の図書館、関係機関・団体など